



At the heart of the image

写 真 部 応 援 マ ガ ジ ン

boys & girls photo magazine

No.242

Top Eye

Early Summer 2007 **6-9**



「過去」高塚 梨那

(鳥取県立鳥取聾学校高等部2年)



交流の輪を広げよう!

みんなで作る!
FRIEND's EyE

斉藤式TopEyeデジタル写真塾 その6

「デジタル写真の
チェックポイントはどこ?」



ガンバレ写真部!

埼玉県立深谷商業高等学校

「デジタル一眼レフ初体験にワクワク!」



視想講座 VOL.238

児玉房子「写真に表現する自分の色」

審査員 おおにし・みつぐ
1952年東京・深川生まれ。下町を撮り続ける写真家。ニコールクラブ顧問、日本写真協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。



「過去」高塚 梨那

鳥取県立鳥取豊学校2年
●一眼レフカメラ ●50mm ●オート ●スカイライト ●トライ-X
写真から伝わる感触といったものを考えてみた時、ひとつにモノの手触り感があります。この写真の場合では包帯の布地の少しザラついた感じ、中の綿でしょうかフワッとした感じなどです。それらは「質感」という写真ならではの描写性に私たちに伝えられるものです。さらに、「痛み」といったものも覚えます。また、そこからかつて怪我をしたこと、それはどうだったのかといった出来事も推察しようします。それが「過去」、いや「記憶」です。そして他者のそれと「ワタシ」のそれとが混じり合い、独特の印象がもたらされます。しげしげと覗き込む「包帯」は、写真という不思議な森への入り口かもしれません。

表紙に大きく載ってるよ!!



「喜びの瞬間」上村 秋穂

熊本県・八代白百合学園高等学校1年
●デジタル一眼レフカメラ ●70-200mm ●Pオート
綱引きの勝利の瞬間。先頭は先生でしょうか。勝ち負けのちがいが、いいポーズになって表れていますね。また、みんなの笑顔がいい。当たり前のことですが、写真はこんな一瞬を「固定」します。しかし、同時に絶えず「動いて」いる一瞬のものとしても自覚させます。つまり勝ち負けの一瞬であるところの「決定的瞬間」は、ちょっと前の瞬間だったはず。この1枚は少しだけ曖昧なコマ数秒後の「時間」です。しかし、こんなに素晴らしい笑顔などが写りました。従ってこれがベストショットだと自慢してよいのです。



第144回 TopEye賞受賞

高塚 梨那さん

受賞のコトバをどうぞ!!

はじめての入賞がトップアイ賞で、驚きました! とてもうれしいです。先輩が手に怪我をし、ギブスをしていました。制服と白いギブス。モノクロ写真で、とても目だっていました。「これを何とか作品にしたい」。そう思い、先輩をお願いして撮影しました。ギブスの部分を強調するため、顔や足部分をカットして撮影。自分でも納得のいく写真を撮ることができました。これからもっとたくさん写真を撮っていこうと思います。そして、どんどん入賞できるよう頑張ります!



「卒業」澁谷 陽菜

新潟県・中越高等学校2年
●コンパクトデジタルカメラ
撮影ポジション、フレーミング、露出、シャッターチャンスなどを総合すれば、この作品が今月の一番「高校写真部らしいまい作品」ということになります。制服を背景にした降りしきる雪は美しく、ああ!青春そのものです。恒例の行事に無理な注文はできませんが、近くから「ブレても、カメラが濡れてもいい」ぐらいで撮れなかったでしょうか。あらかじめ出来あがっている構図を逸脱するぐらいの冒険がほしい。



「夏の終わり」碓井 陽一

埼玉県高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●20mm ●Pオート
サーフボードがボロボロなところに夏の終わりを感じたようですが、そのボードにはボードを抱えたナイスな水着女性が描かれている。それは、今もこの路地を歩いてくるかのような一抹の期待を抱かせます。そうした「感傷」もカメラを構える立派な動機でもあります。地味な街角写真と思わずに、横丁をどどん曲がり、場を展開させながらシャッターを押し続けてほしいものです。



「想いよ届け♡」真藤 裕子

千葉県立柏南高等学校2年
●D200 ●AF-S VR DX18-200mm
●Sオート (1/30秒)

本来は「トップアイ賞」にさせたかった作品です。誰かに教え込まれた写真のつくり方に熱心な人たちに比べると、実にはのびのびと写真で表現することを身体いっぱい楽しんでいます。これでいいです。彼は、いや、世界はきっと真藤さんを待っています! 下半分に画像処理を施し、もう少し描写できているればよかった。実はハート部分の右端にちょっと顔も見えているのですよ! 苦渋の選択の「入選」です。



もうヒトイキDE入賞!! ※順不同

- 「凝視!」林 由梨 愛知県・豊川高等学校3年
- 「心配」秋葉 詩織 千葉県立柏南高等学校2年
- 「リビング」池田 彩乃 滋賀県立草津高等学校2年
- 「流れ」安育 拓真 神奈川県立六ツ川高等学校1年
- 「網目模様」玉井 沙紀 香川県立坂出高等学校2年

- 「天使の羽跡」松井 静香 千葉県立長狭高等学校2年
- 「Let's整列」熊谷 早織 広島県立福湖北高等学校2年
- 「霧立ちの朝」川村 尚彦 長野県伊那北高等学校3年
- 「少年時代」手塚 峻征 栃木県立栃木工業高等学校3年
- 「役立たずな僕」伊藤 真弥 長野県伊那北高等学校2年
- 「誓の下で咲く」岩元 千佳 愛知県立半田農業高等学校2年
- 「変がわ」福岡 里衣子 熊本県・八代白百合学園高等学校2年
- 「いちゃんの屋下り」佐藤 和 新潟県立柏崎常盤高等学校2年

次のページでは
写真入りで
紹介するYO!!



TOPEYE	デジタル一眼レフカメラ 「ニコンD40レンズキット」、 賞状	進 TOPEYE	デジタルコンパクトカメラ 「ニコンCOOLPIX」、 賞状	入 選 佳 作	ニコンオリジナル カメラバッグ、賞状
	ニコンオリジナル ポーチ、賞状				

次回応募締切は
2007年9月10日
(当日消印有効)

※応募に関する注意事項は応募用紙を確認して!!

× 応募用紙はサイトからも
ダウンロードできるヨ! ×

入賞作品はニコンイメージングの
サイトで掲載中!チェックしてみよう!

<http://www.nikon-image.com/jpn/enjoy/gallery/topeye/>

佳作



「祭日」藤原 慎太郎

愛媛県立八幡浜工業高等学校2年
●一眼レフカメラ ●28-80mm ●Aオート (F6.7)
●ISO 400 ●プレスト400

的確なレンズの焦点距離選択と人物の表情など、これもまたうまい写真です。技術的な安定感、このようにぜひ必要なものです。より多くシャッターを押すことが大事でしょう。あとは、なにがしかの偶然と、しつこさでしょうか。

「中吉!」綿谷 真奈美

大阪市立都島工業高等学校2年
●デジタルコンパクトカメラ ●Pオート ●ISO 80

不思議なタイトル。これから運がよくなるということか。でもそんなに運の悪そうな顔していませんよ。かわいくてちょっとミステリアス(微かにブレているので)です。状況のわからないカメラアングルが新鮮。



「FREEDOM」中谷 友里

大阪府立淀川工科高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●28-105mm
●Aオート (F4) ●ISO1600

クラゲを好きな女の子は多いです。あのフワフワ感はいいでよね。感度を1600にして撮るなど工夫していますが、やっぱりフワフワと写っているところと、それだけ気持ちがクラゲに入り込んでいるのがいい。もっと撮ってください。



「異」吉田 元貴

広島県立廿日市西高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●Pオート
妙な既視感があります。鏡を見ているようなもののなのでしょう。セルフポートレイトの面白さは、一見フィクショナルな遊びに思えますが、そうしていることの「現実」を必ず伴っているものです。己とさらに向き合おう!

「逞しき生命」若林 薫

千葉県立薬園台高等学校3年

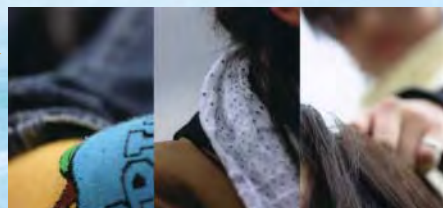
●コンパクトデジタルカメラ
●Pオート ●ISO100

まさにタイトルどりの「世界」です。こうして地に伏して見えてくる生命の息吹を身体にいっぱい感じてください。デジタルカメラならではの体験です。その場で確認できる驚きと感動がここにあります。



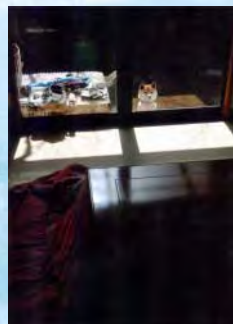
●「Who are you?」鈴木 里美
千葉県立柏南高等学校2年

このぐらいに「自由」であってよいのですが、自分だけがなく、もう少しみんなに「友だち」の印象を伝えてくれないと作品になってきません。



●「ひとりぼっち」丸林 創
長野県松本深志高等学校3年

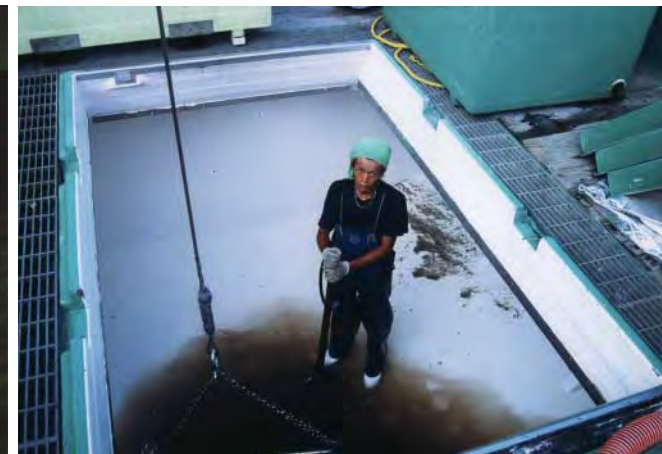
ほのぼのとして好きな写真です。しかし、家の中が暗くなりすぎてしまいました。補助光として室内灯がフラッシュで描写して欲しかったなと思います。



視想講座

VOL.238 児玉房子

写真に表現する自分の色



(左上)「定時制高校女子ボクシング部」(右上)「船上の漁師」(左下)「技術専門学校の実習生」(右下)「有機農場の研修生たち」

制 約なく自分の表現ができる。人と向かい合える。そんな面白さに惹かれて写真をはじめて数十年。今も写真からは新鮮な思いをたくさん受け取っています。

皆さんも感じたことがあると思いますが、写真って本当に不思議ですよね。カメラを持つことでいつもの自分とはすこし変わって、人に積極的に話しかけたり、知らない場所にもどんどん踏みこんだり。それに、「絶対に撮りたい」。そう感じる瞬間って、人や背景、光、いろんなものが向こうからやってきてくれる感じがするんですよ。本当に不思議なものです。

写真は少しずつ変わってきたりしますが、今は、その人のいちばんよい表情、「こんな顔があったんだ」と本人が思える表情を撮りたい

と考えています。“ 大人が眉をひそめる ”と表現されるような若者も実際はすごくよい表情をもっている。そんな一瞬を写真におさめて、彼自身や背景にある時代も表現できたらなど。

写真で大切なのは“ 自分の気持ちを正直に表現すること ”じゃないでしょうか。皆さんの年代は、ちょうど人生の種みたいなのが育つ時期です。私自身その頃にふれた数々が核になっていると思います。だから、変に考えすぎたり縮こまらずに、いろんなことに挑戦していいです。写真だけじゃなくて本や映画、社会なんかにも目をむけて。感じたことが自分の深いところに届く時期だからこそ、さまざまなものにふれて、少しずつ自分の色を育ててください。写真にもきっと役だつはずですよ。

児玉房子

Profile

1945年和歌山生まれ。桑沢デザイン研究所写真科卒業。75年からフリーとなり、都市や近郊の街と人、子供の現状と教育現場を撮り続け、雑誌・新聞・単行本に掲載。93年「日本写真協会賞・年度賞」受賞。写真集・写真展に「クライテリア」「花盛りのころ、街の人々」「ABOUT BIG CITIES」「千年後には・東京」など。



児玉さんが現代の若者たちを撮影した最新写真展「『希望』の」現在が開催されます。詳しい日時はP10をご覧ください。

ガンバレ写真部!!

みんな、撮影を楽しんでいますか? 今回は「ガンバレ!写真部」史上、最多の部員数を誇る深谷商業高等学校を紹介します。なんでも、同写真部は校内文化部でも1、2位を争うほどの部員数だとか。この日はいつもはコンパクトデジタルカメラで撮影しているみんなにデジタル一眼レフカメラを体験してもらったよ。

埼玉県立深谷商業高等学校 デジタル一眼レフ初体験にワクワク!

- 部員: 1年生 26人 2年生 13人 3年生 17人
- 活動: 週に1度ミーティング、夏合宿、撮影会など
- 部費の使い道
予算: 生徒会予算として約9万円
今年から部費として年間10万円を部員から徴収
支出: プリント用インク・用紙など。
大所帯のためスグになくなっちゃうのが悩み

(写真後列左から) 顧問の小久保先生、1年生砂川絵里さん、嶋田侑佳さん、滝本梢さん、小林祥子さん、鈴木悠紀さん、永野静香さん、3年生松本由香梨さん、今野舞香さん、1年生古矢野知佳さん、岩本貴恵さん、青木彩佳さん、2年生小林紗樹さん、3年生飯島彩さん、乙武美穂さん、山森恵美さん、吉田香織さん、浅見美佳さん。

バックに写っている記念館「二層楼」は国の有形文化財にも登録されている自慢の建物。



小久保先生は家庭科ご担当。当日は部員に昼食を作って(作らされて?)らしたぞ。カメラと包丁の両刀使い。

文化部イチの大所帯 縦わりグループが活躍

部員総数は59名! スゴイ人気ぶり! が、それゆえの悩みがある。それは「部員の交流が難しい」こと。そのため、1~3年生混合のグループを数組つくって上級生が下級生に指導し、交流がうまれるようにしている。ナイスアイデア! ただ、簿記をはじめ様々な検定の授業や講習に追われる部員たちは超多忙で、これも最近では難しいそう。ただいま、活動方法模索中。



「ココはこうしてね…」と3年生がデータ保存方法をアドバイス。

「楽」の読み方が変わった?

そもそも、なんで写真部に? 「最初は“楽”そう〜と(笑)。でも、写真を知るほどに“楽”しくなっちゃった(某3年生)」。今ではすっかり写真のトリコです。

部長の乙武さん。「テーマを開拓するのが難しいけど、そこが楽しくもあります!」



デジタル撮影率100%!

「好きなモノを自由に撮ることで、写真が好きになれば」とおっしゃる顧問・小久保先生はご自身もカメラが趣味。撮影活動は部員の自主性を重んじている。部員はみんなコンパクトデジタルカメラを持っていて、デジタル撮影率は100%。部室がわりのCAI教室(コンピュータ室)のパソコンを使って自分専用のフォルダに画像を保存、卒業するまで蓄積する。そして、迎える卒業の時。“汗と涙がギッシリ詰まった(!?)”プレゼントとしてCDが渡されるのだ。



「ほれほれ、ウマくない?」

一眼レフカメラに初挑戦 これ、イイじゃ〜んツ!

さあ、デジタル一眼レフカメラ「D80」体験スタート。一眼レフは“見るのも”“触るのも”はじめて、という人が多数。「プロみたい〜」と興味シンシンです。そして、撮影! 「モニターの画像がキレイ」「接写モードの美しさがちがう」など上級生はその魅力にウットリ。入部したばかりの1年生は撮影自体が新鮮な様子。「見て、見て!」「けっこうウマくない?」と画像を見せあってはニンマリ。ね、写真って楽しいでしょ?



接写に挑戦だあツ!



この日は「二層楼」に特別潜入! なかなか入る機会がないのでキョロキョロ。

めざせ、一眼レフ!? コンテストって刺激的

17人で約1時間に撮った写真は約1300枚! キーッ! 感想をたずねると「楽しかった〜。自分でも欲しい!」などお小遣いが…」とちょっと遠い目に。「フォトフォトサロン・TopEye賞の副賞は『D40』『D80』の姉妹機種だよ」と言う目がキラリ。「作品づくり、ガンバっちゃお〜!」。その意気、その意気。ちなみに同部では県展と地区展への応募が部員の条件。コンテストは「撮影法やテーマを考える良い機会」と刺激になっているそう。本誌へのご応募も待ってます。



山森恵美さん撮影



嶋田侑佳さん撮影



乙武美穂さん撮影



年間をとおして写真部を応援

埼玉県高等学校文化連盟写真専門部事務局長 青木 義雄

埼玉県写真連は創立25年を迎えます。毎年11月に全県規模で行う作品展は、約50校500点の作品を展示し、とても見応えがあります。会期中にはプロによる講演会・講評会を行い、生徒と顧問の勉強の場も設けています。そのほか2月に東西南北の各地区写真展を、6月には全県規模の写真展を実施するなど、年間を通して活動しています。今年度は各地区ごとに技術講習会を計画しています。毎年県内から全国総文祭や関東地区写真展で入賞者が出ており、レベルが高いと自負していますので、まだ加盟されていない学校の方々、ご加盟をお待ちしています。



昨年11月に開催した作品展の様子



古矢野知佳さん撮影



斉藤式 Top Eye デジタル写真塾 その6

デジタル 写真のチェック



は〜あ。後輩から「デジタル写真を失敗しないためには、どんなトコロをチェックすれば良いんですか?」って聞かれちゃった。私もチェックの仕方がわからないんだけど「知らない」なんて言えないし…。

ハハハ、先輩も大変だね。じゃあ、今回はデジタル写真のチェックポイントを教えよう。一緒にポイントを見ていこうか。



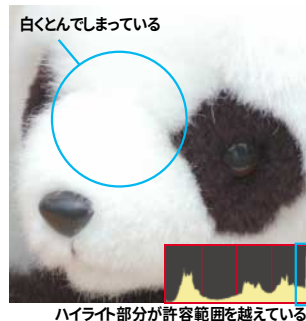
その1 色は大丈夫かな?

画像を現像してから、「白くとんでいた」「黒くつぶれていた」「色がベタっとなっていた」とガッカリした人もいるんじゃないかな? これらはすべて**露出(=光)が適正じゃないから起こる現象**なんだよ。露出が適正かどうかはモニターで「ヒストグラム」をチェックするんだ。

白とび&黒つぶれ

● 白とび=露出オーバー

ヒストグラム右端のハイライト部分が許容範囲を越えると白とびが起こる。解消するには**露出をマイナス補正(=暗く)**しよう。



POINT

白とび&黒つぶれが魅力になることも白とびや黒つぶれが絶対にダメなことじゃなくて、作例写真のようにハイキーやローキーの画像で、効果的な演出となることもあるよ。

● 適正露出

左の写真と比べるとパンダの白い毛や黒い毛の質感がよく出ているのがわかるね。これが適正露出だよ。



● 黒つぶれ=露出アンダー

ヒストグラム左端のシャドウ部分が許容範囲を越えると黒つぶれが起こる。解消するには**露出をプラス補正(=明るく)**するんだ。



● ヒストグラムとは?

画像の輝度(明るさ)分布を示すグラフのこと。横軸は左端のシャドウ部分(暗い部分)から右端のハイライト部分(明るい部分)まで明るさの階層を、縦軸は画素数(データの量)を表している。グラフの山が左にあるほど暗い画像、右にあるほど明るい画像になるよ。



● ハイキー画像



● ローキー画像



色飽和

色鮮やかな花などを撮影したときに、色を塗ったようにベタツとして質感がなくなってしまうことがある。これが「色飽和」という現象で、露出オーバーが原因で起こるんだ。赤いハイビスカスの花を例に見てみよう。

● 色飽和なし

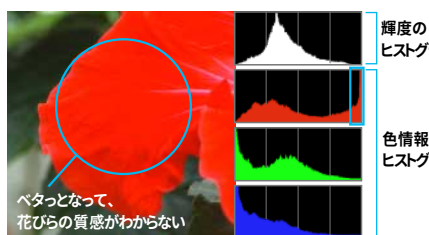
花びらの細かな質感がはっきりとわかる。グラフの山はシャドウ部分に寄っているが、画像を見る限り露出は適正。



花びらの質感もパッチリわかる

● 色飽和あり=露出オーバー

細かな質感が失われ、色を塗ったようにベタツとなっている。輝度情報のヒストグラムだと露出オーバーしているように見えないが、色情報のヒストグラムを見てみるとR(赤)チャンネルが許容範囲を越えている。コレが原因。



POINT

上の例を見ればわかるように、色飽和は輝度情報のヒストグラムだけでは正しく判断できない。ただ、色情報のヒストグラムは見られない機種もあるから、「**色鮮やかな被写体を撮影する場合、露出は控えめに設定する**」と覚えておけば良い。

ポイントはどこ?

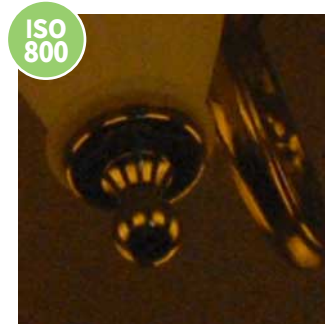
デジタル写真2年生のEyeちゃんにも、どうやら4月から後輩ができたようです。カワイイ後輩にカメラの使い方&魅力をしっかり教えてあげようと、Eyeちゃんの鼻息はますます荒くなっています。ただ、人に教えることは自分がよく理解していないとできないもんだよね。さてさて、Eyeちゃん先輩は大丈夫なのかな? 講師/斉藤勝則

その2 ザラザラしすぎてない?

ISO感度を高くして撮影するほど、画像にあるザラつき(=「ノイズ」)は目立つようになる。だからノイズが目立ちすぎないかをチェックしよう。ノイズは明るい部分や日中の撮影ではあまり目立たないので暗い部分を拡大して見るとわかりやすい。作例は洋館の照明器具の写真を拡大しただよ。



ほとんどノイズは見えないね



ほらほら、少しノイズが目だってきたよ。



ここまで感度をあげると、かなりノイズが目立つね。

POINT

ノイズ=ダメじゃないよ。ほどよいノイズは画像に立体感を生みフィルム撮影したような効果をだせる。だから、あくまで**自分の意図以上にノイズが出ていないかをチェック**すること。高感度撮影時にはカメラの【ノイズ低減】機能も利用してみて。ただ強くかけすぎると画像がノッペリなっちゃうから注意。

その3 ブレてない?

シャープさが無い画像は「手ブレ」が大きな原因であることが多い。特に1000万画素クラスのカメラになると少しの手ブレも大きく影響するから要注意。シャッター速度が遅いとブレやすいから、**三脚を使用したり、手持ち撮影の場合はシャッター速度を焦点距離の2倍分の1秒以上高速に設定**するとイイ。



画像を拡大すると、手ブレによりぼけている。シャープさが低いね。



シャッタースピードをあげると、手ブレもなくシャープに!

※お台場の自由の女神像を200mm望遠レンズで手持ち撮影した。



ニコンには手ブレ補正(VR)機能を搭載したレンズもある。左の作例でブレていたシャッター速度1/100秒で撮影しても、画像はまったくブレずにとってもシャープ。



Eyeちゃんも少し先輩らしくなってきたけど、あわてん坊ぶりは相変わらずだね。ちゃんと自分がマスターしてから、後輩に教えてあげるんだよ!

さて、次回のテーマは

「写真をうまく撮るためのちょっとしたコツ」です。

少しの工夫で写真はグーンと良くなるので、楽しみにしておいてください。



このコーナーでは、全国の写真部の活動情報をお届けします。見て、読んで、そしてガンガン撮って、どうそ他校との交流の輪をひろげてください。フレンズアイはみんながつくるコーナーです。ちょっとしたことから大きな事件まで、どんな投稿でも大歓迎。たくさんの情報を待っています!

わたしたちの写真展

鳥取県立鳥取聾学校写真部 「ツインズ&トリプレッツ」in ニコンサロンbis

タイトルは「双子ちゃん、三つ子ちゃん」という意味です。作品づくりのテーマを考えているときに、双子である部員が「僕たちのような双子ちゃんや三つ子ちゃんを撮ったら面白いのでは?」と言ったことがきっかけでした。頭を悩ませたのは、どうやって被写体を探せばよいのかということ。当初は不安でしたが、たくさんの双子ちゃん、三つ子ちゃんに出会えたのは、被写体の方はじめ多くのひとに協力いただいたおかげです。彼らとはもちろん、ご家族の方ともお話しする楽しい時間をもつことができ、「写真・カメラはコミュニケーション」ということをあらためて実感しました。ぜひ、会場へお越しただいて、わたしたちのコミュニケーションを見てください。お待ちしております。

開催期間: 9月18日(火)~9月24日(月)
10:00~19:00 [最終日は16:00まで]
会場: ニコンサロンbis
東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー28階
ニコンプラザ新宿内 (TEL:03-3344-0565)

9月18日(火)には部員数名が上京します。皆さんとコミュニケーションできることを楽しみに、会場でお待ちしています!



■写真展で展示する作品の一部■



先輩からのエール

聖母大学看護学部1年
佐藤 真珠さん (福島県・尚志高等学校卒業)

高校で顧問の先生に誘われて写真をはじめ、カメラに熱中した青春時代…。そんな私も、春から大学生になりました! 上京してから余裕がなく、しばらくカメラを手にしていませんでしたが、先日の体育祭で久しぶりに写真を撮りました。やっぱり、写真はいいですね! 人の笑顔で自分まで幸せになれます。私は、“うまく撮ること”よりも、“思い出に残すこと”が第一です!! これからもたくさんの思い出をカメラに残していこうと思っています。



佐藤さんは、2006年6-9月号で準TopEye賞受賞

先輩からのエール

高崎健康福祉大学短期大学部児童福祉学科1年
岩崎 元美さん (新潟県立十日町総合高等学校卒業)

私は現在、児童福祉について勉強しています。最近では写真を撮る機会が少なくて残念ですが、毎日デジカメを持ち歩いています。高校生のときは好きなものを好きなように撮っていました。写真は自分が楽しみながら撮ることがイチバンだと思います。そして私は「もっとたくさん撮っておけばよかった!」と少し後悔しているので、皆さんには自分がよいと思った写真をたくさん撮ってほしいです。「写真がスキ」という気持ちを忘れずにがんばってください!



岩崎さんは、2006年12-1月号で準TopEye賞受賞

投稿待ってます!

学校の自慢や写真展の告知、カメラについての悩みなど、どんなテーマでもOKです! 以下の項目を明記して編集部までお送りください。

①コーナー名 ②写真キャプションまたはコメント ③学校名とクラブ名 ④あなたの住所 ⑤氏名 ⑥電話番号 ⑦使用可能なメールアドレス ⑧トップアイの感想・要望 など

※ご応募いただいた方の個人情報を他の目的で使用することはありません。

宛先
〒104-0045
東京都中央区築地1-9-2 ISETSUNEビル4F
(株)アドバタイズ TopEye編集部宛
FAX (03)5148-0566

mail address topeye@nikonoa.net

掲載者には、
素敵な記念品
をプレゼント!

NEWS-1

2006年TopEyeフォトフォトサロン 入賞作品が全国巡回中

4月から「TopEyeフォトフォトサロン」の2006年入賞作品が全国のニコンサービスセンターを巡回しています。誌面でみていた作品を間近で見られるチャンスは、めったにありません。近くの方は、ぜひ会場へ足を運ぼう!

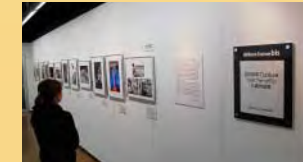
※会場の都合により、開催地区近郊の方の入賞作品を優先的に展示します。

■日程 ※休館日は会期中のものです。

- 福岡 SC: 6/11~22 (TEL:092-415-6350 土・日曜日休み)
- 仙台 SC: 7/2~25 (TEL:022-227-1237 土・日曜日、祝日休み)
- 梅田 SC: 8/3~14 (TEL:06-6348-9730 水曜日休み)
- 名古屋 SC: 8/20~31 (TEL:052-954-0122 土・日曜日休み)
- 札幌 SC: (2008年)1/7~25 (TEL:011-717-5781 土・日曜日、祝日休み)



4月にニコンサロンbisで行われた作品展の様子



「野焼き」三宮 香織さん
2006年10-11月号 TopEye賞

「個性」青柳 彩さん
2006年10-11月号 準TopEye賞

NEWS-2

児玉房子さん写真展 「『希望』の現在」in 大阪ニコンサロン



4ページの「視想講座」でご紹介した児玉房子さんが、大阪ニコンサロンで写真展を開催します。被写体は、児玉さんがさまざまな場所で出会った“現在の若者たち”。懸命に働き、技術を学び、他人に手を差し伸べる、なにかにかなる時を

めざしている…。そんな彼らの姿をフィルムにおさめました。題名につけられた「希望」の言葉の意味を、ぜひ会場で感じてください。

開催期間: 7月5日(木)~7月10日(火) 10:00~18:00
会場: 大阪ニコンサロン
大阪市北区梅田2-5-2 新サンケイビル1階
ニコンプラザ大阪内 (TEL:06-6348-9698)

NEWS-3

TopEye 2006.6-9月号ご紹介

北野 謙さん 「平成19年度日本写真協会賞新人賞」受賞!

昨年、本誌「視想講座vol.233」にご登場いただいた北野 謙さんが、「平成19年度日本写真協会賞新人賞」を受賞されました! おめでとうございます! 北野さんが試みているのは1枚のプリントに人物の顔を重ね焼きする「our face」シリーズ。ある特定の集団の顔を重ねて、平均的像を浮かび上がらせるという斬新な方法です。みんなも北野さんに習って、この夏、自分だけの方法を見つけみてはいかがでしょうか?



(左写真) our face/長崎県多良見町立琴海中学校の生徒(女子)60人を重ねた肖像
(右写真) our face/京都宮川町春の「京おどり」で舞う芸妓さん、舞妓さん30人を重ねた肖像

NEWS-4

あなたの街にお伺いします!

TopEye出張デジタル写真塾

「デジタルカメラを使ってみよう。けど、デジタル写真ってわからない…。」そんなお悩みを持っているみんなに朗報! なんと、あなたの街でTopEye編集部主催「TopEye出張デジタル写真塾」を開催します。デジタルカメラがなくとも大丈夫。必要な機材はすべてこちらでご用意し、講師が撮影からプリントアウトまで、デジタル写真の流れを丁寧に指導します。お申し込み・お問い合わせは、FAXかメールで下記へご連絡ください。

内容: デジタル写真講座、デジタルプリント講座、デジタル一眼レフ体験、プリント実習
対象者: 中学・高等学校の写真部員(写真部に準ずる部でも可)および顧問の先生
講習時間: 午後1時~5時(予定)
講習会場: ご希望の地区で、プロジェクタが使用できる会場をご用意ください。
使用機材: デジタル一眼レフカメラ、プリンター(協力:エプソン販売) ※こちらでご用意します。
参加人数: 20~40名程度 ※複数校合同or都道府県高写真単位でのお申し込みも大歓迎です。

お問い合わせ ニコントップアイ編集部(ニコンカメラ販売株式会社)
FAX:03-5537-1471 E-mail:topeye@nikonoa.net



昨年行われた「TopEye出張デジタル写真塾」の様子

訂正のお知らせ

前号に掲載した、9ページ「ワタシの写真展」記事内で、写真展の会場を「各地のニコンサロンミニギャラリー」と記載しましたが、「各地のニコンサービスセンターミニギャラリー」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

ことしの夏は、島根へ行こう! 「全国高総文祭しまね'07」開催



皆さん、全国高等学校総合文化祭を知っていますか？文化活動に取り組む高校生たちが一同に会し大会を開く、年に一度のビッグイベントです。31回目を迎える今年は島根県が開催地。県内の各会場で、各部門ごとに活動の成果を発表します。ジャンルは写真部門はもちろん、吹奏楽や演劇から小倉百人一首かるた(!)まで多種多様な23部門。パレードも行われ楽しいイベントがもりだくさんです。写真を見てヨシ、他の分野にふれてヨシ、他校と交流してヨシ! さあ、ことしの夏は、島根に出かけてみませんか？

期間

7月29日(日)～8月2日(木)

会場

島根県内の各会場

URL

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kousoubunsai/>

お問い合わせ先

第31回全国高等学校総合文化祭島根県実行委員会事務局
(TEL 0852-22-6770 / FAX 0852-22-6772)

※開催日や会場は、部門によって異なります。
詳しくはホームページで確かめください。

マスコットキャラクター
「かくらん」



「2006年TopEyeフォトフォトサロン入賞作品」特別展示決定!

松江市総合体育館で行われる写真部門。会場では、2006年1年間の「フォトフォトサロン」の入賞作品も展示されるので要チェック! ニコンのブースも出展しているので、のぞいてみてください。



昨年、京都で開催された第30回全国高等学校総合文化祭の様子。

Nikon Salon Information <http://www.nikon-image.com/jpn/activity/salon/>

銀座 (03) 5537-1469 10:00～19:00 (最終日は16:00)

- 上本ひとし「OIL 2006」 6/13～6/26
- 島内治彦「メキシコ・ソノラ・地上の光景」 6/27～7/10
- 柏原力「『芒洋』果てない憧憬」 7/11～7/24
- 志鎌 猛「森の呼吸 Silent Respiration of Forests」 7/25～8/7
- 有野永露「無名のアースワーク アメリカ編」 8/8～8/21(8/12・13休館)
- 池田宏彦「at Negev」 8/22～9/4
- 鬼海弘雄「東京夢譚」 9/5～9/18
- 石川直樹「NEW DIMENTION」 9/19～10/2
- 小林伸一郎「最終工場」 10/3～10/16

新宿 (03) 3344-0565 10:00～19:00 (最終日は16:00)

- 飯田 勇「越境地帯」 6/12～6/25
- 荒 多恵子「『1』」 6/26～7/2
- Juna21 稲宮康人「『くに』のかたち HIGHWAY LANDSCAPES OF JAPAN」 7/3～7/9
- 青島千恵子「光る音IV-Delhi インド デリ」 7/10～7/16
- Jui「カフカス」 7/17～7/30
- Juna21 廣瀬遥果「ミナソコ」 7/31～8/6
- 全日本写真連盟「全日本写真展 2007」 8/7～8/13
- 佐藤哲郎「紐育流浪」 8/14～8/27(8/19・20休館)
- Juna21 濱口香奈子「時差2時間からの便り」 8/28～9/3
- 山中賢一「『てんさい(10歳)』は20歳になった『途上登場!20歳』」 9/4～9/10
- 柴田のりよし「路地裏マダラ」 9/11～9/24
- Juna21 亀山かおり「カプセル アパート」 9/25～10/1
- 「ニコソフコンテストインターナショナル2006-2007入賞作品展」 10/2～10/15

ニコンサロン bis (03) 3344-0565 10:00～19:00 (最終日は16:00)

- ニッコールクラブ伊勢崎支部「生の道程」 6/12～6/18
- 光山悦朗「アッサーム・アレクム(あなたに平安を)」 6/19～6/25
- 菊込 佑「街の贈りもの」 6/26～7/2
- Juna21 安達康介「洛中洛外景」 7/3～7/9
- ニッコールクラブ新宿自然支部「水のある風景」 7/10～7/16
- 榊 見弘「まんようのころ」 7/17～7/23
- 土田有子「岩が鳴く」 7/24～7/30
- Juna21 刑部信人「ease」 7/31～8/6
- ニッコールクラブ五支部「自分史『家族』」 8/7～8/13
- 全国高等学校文化連盟「第31回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展」 8/14～8/27(8/19・20休館)
- Juna21 保戸塚千真「Purkinje」 8/28～9/3
- 向井俊久「タンチョウー大地からの詩」 9/4～9/10
- 信濃毎日新聞社共催「熊谷元一写真賞10周年記念企画展」 9/11～9/17
- 鳥取県立鳥取聾学校写真部「ツインズ&トリプレッツ」 9/18～9/24
- Juna21 野村次郎「ある日」 9/25～10/1
- 「ニコソフコンテストインターナショナル 2006-2007入賞作品展」 10/2～10/15

大阪 (06) 6348-9698 10:00～18:00 (毎週水曜休館)

- ハナブサ・リュウ「美の王国」 6/7～6/19
- 第28回土門拳賞受賞作品展 中村征夫「海中2万7000時間の旅」 6/21～7/3
- 児玉房子「『希望』の現在」 7/5～7/10
- 須田一政「ニホンノ風景」 7/12～7/17
- 村上友重「水、満ちる-the series of water-」 7/19～7/24
- 飯田 勇「越境地帯」 7/26～7/31
- Juna21 8/2～8/7
- 金子友洋「Botany」・土屋景子「猫のいる島」・久保圭史「通り過ぎなかった光景」・岩瀬菜美「夜の声」 (8/8～8/15夏期休館)
- 上本ひとし「OIL 2006」 8/16～8/21
- 島内治彦「メキシコ・ソノラ・地上の光景」 8/23～8/28
- 渡邊博史「I See Angels Every Day. 私は毎日、天使を見ている。」 8/30～9/4
- 全国高等学校文化連盟「第31回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展」 9/6～9/11
- 有野永露「無名のアースワーク アメリカ編」 9/13～9/18
- 青島千恵子「光る音IV-Delhi」 9/20～9/25
- Juna21 9/27～10/2
- 稲宮康人「『くに』のかたち HIGHWAY LANDSCAPES OF JAPAN」・安達康介「洛中洛外景」・廣瀬遥果「ミナソコ」・刑部信人「ease」
- 鬼海弘雄「東京夢譚」 10/4～10/9
- 石川直樹「NEW DIMENTION」 10/11～10/16

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

『Top Eye』へのご投稿・情報ご提供・およびお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (ニコンカメラ販売株式会社)

E-mail address: topeye@nikon.co.jp
TEL: 03-5537-1506